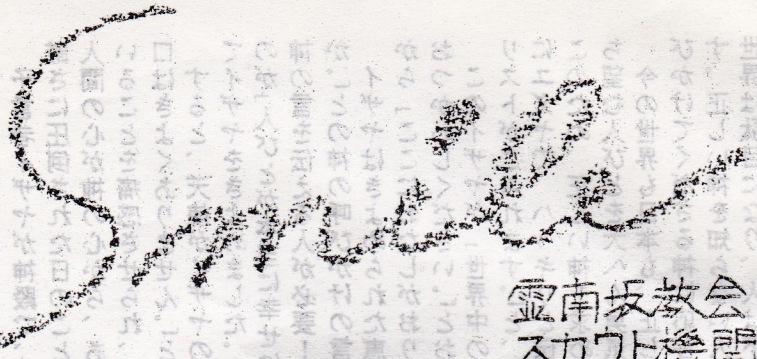


1987

562年12A



# 霊南坂教会 スカウト機関紙

私たちが生活していく上で、人と人とのつき合いは、切り離せることのできない大切なことです。けれども、Aさんとの意見のくい違い・・・Bさんとのけんか・・・とか人づき合いもそんなに簡単ではないようです。そこで古くとしたアドバイスを「B・Pのこととは一から少し紹介してみます。」

『この世を楽しむ場所にしたくなり、いつも回りを見まわして、他の人がどんな風に考えているかを知れ。そうすれば、あなたにあなたがいい分があるように、他の人にも、他の人のいい分があることがわかるであろう』

友達同士おしゃべりをしていて、自分の考えと相手の考えが合わなかったとき、おもわずムツとしてしまったり、その場の雰囲気か冷めたものになってしまったりしたことはあ

りませんか？こんな時、ちょっと冷静になっ  
てみて、相手の考えを理解するまではいかな  
くても、聞くだけの余裕ができれば、穏やか  
にうまくいきそうですよね。

『口を開く前に必ず、これから言おうとし  
ていることは、果たして言つ必要のあること  
かどうが考えてみることに、そうすれば、余計  
なことを言ってしまったとか、不必義に人の  
注意をひいてしまったとかいう後悔はしない  
です』

このように、自分の心の  
中で、少しでも気をつけて  
いるのといないとでは、す  
いぶん違ってきます。

B・Pのことは少し  
でも役立てて下さいね。

1987  
December  
No.6

Ill / wakabayashi

今井 賢祐先生

「あなたも、どうぞー！」

予言者イザヤが神殿で、神の不思議な荘厳さに圧倒された日のことです。自分たち人間の心が神の心から、あまりにも離れていることを痛感させられ、「わたしの心や口はきよくありません。」と告白しました。

すると、天使がイザヤの唇に炭火を当ててイザヤをきよめました。そして聞こえたのが「人びとが本当に幸せになれるために、神の言を伝える人が必要！誰かおりませんか。」との神の呼びかけの言でした。

イザヤはきよめられた恵に感謝し、自分から「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください。」とお応えしました。

このイザヤが「世界中の人の救いに、キリストがこられます。」と、その七百年も前にユダヤで、ハッキリと伝えたのでした。このため、正しい神を求め、救いを待ち望む人びとを大へん勇氣づけたのです。

今の世界も日本も、正しい神を信じ、呼びかけてくださる神に応答する人は必要です。正しい神を知らない人が増えていくと世界は駄目になり、人は不幸になります。

初めから自信がなくても、神から、きよめられ、強められて、わたしたちは神と人びとに仕えて幸せになれるのです。

スマイルは語る

編集長 山ノ上 善和

最近、世間の人たちは、ボーイスカウト、

ガールスカウトをどのような目でみているのだろうか。どういう事かと言うと、まあこんな事考えているのは私だけでも知れませんが、この際ガールスカウトの話は別にしておいて（分かりませんので）、ボーイスカウトと言う言葉をきいてどういう印象をもつか、またボーイスカウトをやっている人をどう思うか、という事なのだが、まずは大人の人の場合だとかなり良いイメージを持っているようである。そもそもボーイスカウトという言葉をきいて悪いイメージを持つ人などいないとは思いますが、私たちのような若い年代（中・高校生など）になると少し違う。なんというか、決して別に悪いイメージを持つわけでもないが、かと言ってあまり良いイメージを持つわけでもないようである。（あくまでもそう言う傾向があるというだけであって、当然受けとめ方には個人差がある。）私自身も学校等の友人には自分がボーイスカウトをやっているなどとは口にしていない。又、友人などで、自分はボーイスカウトをやっていると、あいつはやっているとか言う言葉はきいたことがない。現在、ボーイスカウトをやっている人が少ないという事もあるが、

私の友人のなかにも少なからずともやっていると出さないとと思う。おそらく彼等も、口に出さないようにしているであろう。

最近では、日本全体の規模になると分らないが少なくとも私たちの周りではボーイスカウトの人数は減ってきている傾向にある。ある種の都市の過疎化が進んでいて人口が減っているという事もあるが、そもそもボーイスカウトの精神は今の若い人たちには合わなくなってきたのだと思う。（前にも記した通り、ガールスカウトについては別問題としておく。）誓いだの掟だの奉仕活動など、たしかにおもしろくなく聞こえる。しかしボーイスカウトの根本である活動「ハイキングやキャンプを通じての野外活動はやはり外ではめったに体験できない事であるし、人生の中でそのような体験は一度は必要であるように思えてくる。大自然の中で友人と一緒に、なにかも自分達の手で生活をし、苦楽を共にするということは、なんとも充実感があり気持ちの良い思い出となる。またこれらの事は大変誇りに思っている。だからキャンプ等の話はよく友人などにするものであるが、やはりボーイスカウトの言葉はふせている。だから皆にも、真のボーイスカウトの目的、活動を理解してもらいたい。それを知れば皆も少しは受けとめ方がかわってくるかも知れない。現に私もそういう活動に憧れてボーイスカウトに入団したのだから……。

# キャンプ特集

その上

みなさん！キャンプはいかがでしたか？  
今回のスマイルでは、キャンプ特集ということで、まずは、キャンプの目的について各部門ごとに書いていただきました。

## B・S編

### ビーバー隊

#### リーダー

初めて親元をはなれて、寝食を共にする団体生活を送る事は、ビーバーにとってすばらしい体験だったと思います。一人一人が協力しなければ、いけないという事が、良くわかり、お互いに助けあって行動をしていた様です。決められた時間で作業をする事は、とても大変な様子でした。ちょっとお家が恋しい子供もいました。

#### スカウト

キャンプは、とっても楽しかったです。一年生が五人参加し来年ビックビーバーでまた行きたいと思えます。ピクニックは、少し疲れたけどおもしろかった。キャンプファイヤーは、大きな声で歌がうたえまじたし、アスレチックは、とてもおもしろかったけどすこしこわかったです。

### カブ隊

#### リーダー

楽しいゲーム大会、忍耐のいるピクニックでの組の協力、目上の人、仲間に対しての礼儀、自然に親しみ、そのつくり主を覚える、長いプログラムに向うために事前の心がけ、なによりカブのやくそく、さだめがきちんと守り、おこなわれるかなどを考え一つ一つのプログラムを楽しくゆかいに又意欲的にとりくめる様になりました。

#### スカウト

隊長がこの様な考えだという事はしらなかった。ビーバーと一緒にだったがゲームなどで同時に勝った時「僕達、僕達」とゆずらなかつたのを反省した。夜は遅んで仕事ができ点検も早くうけられたのに、朝はぐずぐずして早くできなかつた。みんなで行動する時に隊長の目的が良くわかつた。失敗を来年の進歩に結びつけたい。

### ボーイ隊

#### リーダー

今年のキャンプは、昨年同様、スカウトの参加人数が少なく、わずかに五人で行なうことになった。スカウトの一人一人が、相手の立場を考えて行動することによって、キャンプの中の多くの困難を解決することが可能になる。少ない人数でのキャンプには、最も重要なことだ。そこで、協力の

大切さを知らう。をテーマにしたのである。

### スカウト

今年のキャンプは、今年のキャンプより人数が少なく、テントや食事の用意などは人手が少なく一人二役でした。しかし、僕達は、今年のテーマと供なって、協力をしました。今年のテーマは、みんなが知らなかつたけれども、みんなが協力してできたのは、みんなのいきがあつたからだと思は、そう思いました。

### シニア隊

#### リーダー

シニアでは「一歩一歩」。全てスカウトの手で行われます。夏キャンプも同様です。但、スケールがいつもと異なるので、ノリやイキオイで誤魔化せないところが出てきます。計画の甘さ、実行力の乏しさを大いに評価し次へつなげたいものです。いずれにせよ、移動キャンプやらずしてシニアを語ることもなけれ、ということですから、スカウト

移動キャンプを経験しなければシニアスカウトは語れないといわれるように、例年通り今年も移動キャンプが行なわれた。

スカウトが計画の段階から全て行なう我々であるが、今年も移動キャンプ未経験である班長が計画をたてたので、どうであったであろうか……。

班長曰く、「やっとシニアが語れる。」

ブラウニー

リーダー  
都会で失なわれつつある自然を豊かに感じるとともに、物質、生活環境等あらゆる面で便利な生活から一歩離れた生活をする  
ことにより、自分達が、どれだけ恵まれているか気付き、又、どのように工夫すればよいかを体得すること、そして、それらの生活の中で友達との関係をより深めていくことをキャンプの目的としました。

スカウト

山小屋に泊って、ガや虫がいっぱいいていやだった。テレビがあればいいのに。枕投げやバジマコンテストで退屈を紛らわしたの。湖や景色がきれいだった。子供だけでもさみしくない。パパやママがいなくて怒られないから。皆と一緒に生活できたのがよかった。

ジュニア

リーダー

今年のキャンプの目的は「時間を守る」ということで、プログラムをたてる時点から、時間をタッパー余裕をもって計画しました。それによって「ただあわただしいだけのキャンプ」という印象より「楽しいキャンプ」を体験させたかったのです。スカウトたちはきつと楽しんでくれたはず。も

ちろんリーダー達も楽しかったのだから。

スカウト

私は、キャンプに行つてよかつたと思ふ理由がたくさんあります。いろいろな料理の作り方を初めて知つたり、まだ、見たことのない植物を見たりしたのでとても楽しかつたです。また、数人の友達とテントの中でいっしょに寝たのでおもしろかつたです。また行きたいです。

ジュニア

リーダー

ジュニア全体の目標は、新しい自分の発見。その他に、パトロールごと、個人の目標とスカウト一人について三つ目標を持つように言いました。一日を終えるごとに、反省と新しい発見をもとに自分の視野を広げていってほしいと思ひました。これからも、キャンプで発見できたもの、見えてきたものを生かして、活動してほしいと思ひます。

スカウト

ジュニアの目的は、「新しい自分の発見」でした。その受け取り方や行動には、それぞれが違ひましたが、私達は、時間という面にしては不十分でした。なぜ不十分か、それは、作業をする時、自分達の事ばかりして、周囲の人達にめいわくをかけてしまいました。今後は、一歩先の事を考えて行動していかなければいけないと思つた。

レンジャー

リーダー

本年度のレンジャーキャンプは、スカウトが全て計画するというところで、体力の限界に挑戦しよう」という目的のもとでキャンプを行いました。涼しいはずの山中湖にも猛暑が襲つてきたため、予定よりも、より体力の限界に挑戦してしまいました。リーダー、スカウト共にさわやかな汗を流して帰京しました。

スカウト

「体力の限界……」ということと、湖畔での運動会や、六時間のハイキングを行いました。運動会では、腕ずもう、麦茶遠投、み、転がしなどをやりました。しかし、何といてもアイスクリームを自分達の手でころがして作ったのも体力がかなりいるものでした。とにかく、予想以外にも暑かつたので、より一層体力が必要でした。

という訳で、キャンプでのリーダーの考へていた本来の目的、それをスカウトはどのように考へ、どう受けとめたかを載せてみました。どうだったでしょうか？ただキャンプに行くというだけでなく、今回の企画の中でリーダーとスカウトそして他の部門の意見をお互いに考へてみる事も必要だと思ひます。最後にになりましたが、みなさん御協力ありがとうございました。

# キャンプ特集

前のページで書いていただいた目的の下で、色々な思い出が、出来たようですね。このページでは、その中の一部をみんなでお話し合おうことにしました。

## 「初めてのキャンプ」

カブのキャンプに参加させていただいて、ビバー達にとっては、少し体力的にハードだった様子でした。追跡のリポンをどんどん追ってとてもよく頑張ったビックニック、お父様たちのだいふんとうの、きもだめし、花火大会、思い出の多いキャンプでした。

「こんなこと あったよ！」

ブラウニー

レジャーシートやダンボール箱などを使っておしろを作ったの。ホテルにしてお客さんをおもてなしだ。おふるはね、坂道に作ったから入るとすべるよ。  
たいこ(ダンボール箱)をたたいて、おまつりもしたよ。

「カブキャンプ、清里」

カブ隊

何年か前のキャンプでハチにさされとても苦しい思いをしました。とにかく冷やせば良いという事でしたので、今回はゼノールですぐ冷やしましたので大事にいたりませんでした。目玉はスカウトはスタンツ、隊長は父の会の「きもだめし」です。

## 「楽しかったキャンプ」

ジュニア

今年のキャンプでは、Tシャツにかかれた地図をたよりにポイントをまわって。水鉄砲で遊んだり、救急法をやったりするゲームや、運動会、おじいさんの民話などがあってとても楽しかった。水くみや飯合でごはんを炊くのは、たいへんだったけど、キャンプはじかないと出来ない事だと思つた。

「ザ・リンツ」

ボーイ隊

一番印象に残ったのは、初めてやったリンツでした。反省のほうは、雨をしのぐために必要なところを選んだけれど必要な道具が足りなかったこと、二ツ目は、ロープむすびが完全でなかったこと、これからは、石をおいてくれ落ちないようにしたり、頭の上に溝をほるなど工夫をしたい。

「リーダー&レンジャーの襲撃」

ジュニア

ジュニアは襲撃された。ここで名は言えな

いが必殺仕掛人トリオとしておこう。それはジュニアの日、運動会決行中のときだった。敵は右手に水鉄砲を持ち、ハットリくんのごとく忍び寄ったのだ。うかつにも気付かなかった。我々はあの世行き。誠にうらめしい。来年は、お岩のごとく反撃じゃっ！

## 「失敗は成功のもと」

ジュニア隊

一日二十キロ以上の重たい荷物を背負って歩くジュニア隊のキャンプ。とにかく疲れたのが第一印象でした。メンバーが五人と少ないためか、車に助けてもらったりと、自分達の未熟さが目立ったキャンプでした。失敗は成功のもとと言っただけから、今度のキャンプはきっと成功するでしょう。

「ついに成功！」

レンジャー

あら塩、水、生クリーム、牛乳、バナナ、エッセンス、砂糖、大小の缶、ガムテープ、体力……さあ、みなさんこの材料で何が出来ると思えますか？アイスクリームなのですが、実は、一昨年にも挑戦したのですが、失敗に終り今年再挑戦してついに成功したのです。みなさんもやってみたらいかが？

いかがでしたか？みなさんも、他の部門の体験を来年のキャンプに役立てて下さい。御協力ありがとうございました。

# アウトドア

こんにちは。みなさんも今は夏のキャンプや合同キャンプファイヤー、バザーも終わってほっとひと息ついたころだと思います。ところで夏のキャンプはどうだったかな？楽しかったこと、つらかったこと、いっぱいあったと思うけどきっといい思い出になるね。

さて、キャンプでかまどはうまくできましたか？ちゃんと火はついたかな？そこで今回はかまどでの上手な、まきの組み方など『火』について紹介します。次回のキャンプで、参考にしてみて下さいね。

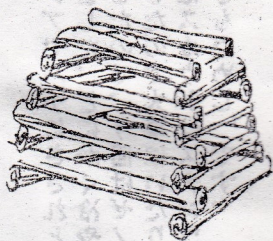


図 1

まきの組み方は、基本的に『いげた式』と『インディアン式』があります。左の図1は『いげた式』です。交互にまきをかさねていく方法で、キャンプファイヤーによく使いますね。あれは、長もちするからなのです。

火を使う時、強い火力が必要なのか、弱くても長く持つ火が必要なのか、というように今どんな種類の火を必要としているかを知っておくのが大切です。

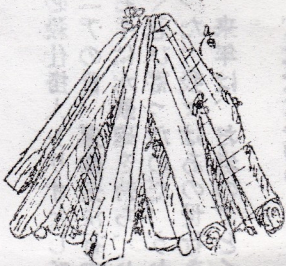


図 2

図2は『インディアン式』と、いうものでまきを三角につみかさねていく方法で、みなさんがキャンプなどで何げなくやっているのもこの方法だと思います。

まきの組み方で、どの方法にも言えることは最初からまきを多く組まないで、必ず空気の通り道を作ることが、より早く火を確保するために大切なことなのです。

みなさんも、いろいろな方法を知って、どのような場合でも役立てることができるようにがんばりましょうね。



キャンプに行く時、みなさんはマッチをどのようにして持って行きますか？マッチは湿っていると役立ちませんね。だからビニール袋に入れたりする必要があります。又、小さな缶に入れて持って行けば安心です。

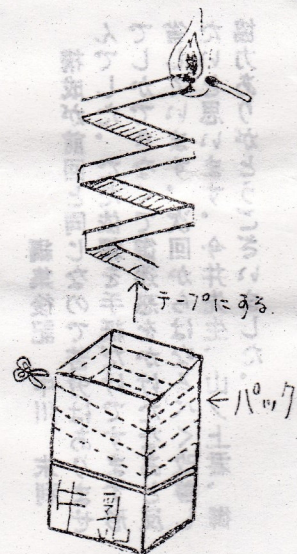
そこで、自分の手で防水マッチを作ってみましょう。まず、ロウをとがしたものを用意します。それにマッチをつけますが、軸木にもつけておくと火持ちがよくなります。キャンプに持って行く前に必ずテストをしましょう。テストは、しばらく水につけた後でも確実に着火することが出来るかというものです。

みなさん、ぜひチャレンジしてみましょう。

ローソクをキャンプに持って行くと、夜の明りにもなるし、酸素が欠乏されていないかを知ることができます。

ローソクをもっていなくても、ジュースや牛乳の紙パックがあれば、代用ローソクとして使うことができます。あの紙パックにも内側に少しロウがぬってあるからです。

パックを横に1cmぐらいの幅に切ってテープをつくるのです。上から下まで1本のテープにすれば、途中で改めて火をつける必要がありません。紙パック1つで、だいたい1時間から2時間は、もちます。そして、明るくしたいのならばテープの幅を広くして、長くもたせようと思うならば、幅をせまくしてテープを長くすれば、O・Kです。やってみては、いかがですか？



はるか昔、人間がけものたちとおなじような生活をしていたころ……火山から噴きでる溶岩の流れで森が、燃えた…雷が大木におちて炎をあげた……このようにして人間は、はじめて『火』を知ったといいます。そして、『天然の火』にたよるのではなく自分たちの手で『火』をつくることを考えだしていったのです。

いかがでしたか？みなさんがすこしでも「ああ、そうなのかあ」などとおもってくれるとうれしいです。このコーナーをこれからもずっと応援してくださいね。

編輯集末後定期

編集長 加藤 美和

最初、とまどっていたスマイルの仕事もだいたい慣れ、スムーズに進むようになりました。今回は、何の問題もなく、発刊できるかなと思っていたのに、ワープロ故障という大事件が、起きてしまいました。でもどうにか発刊出来て、ホッとしました。私達の努力の作を御愛読下さいませ。

メイン 山寺 淳史

今回のスマイルの製作を体験してきました、やっとスマイルというものがどういうものであるかが分かったような気がします。次号からは、自分も積極的にスマイルの製作に参加し、大きく貢献していきたいと思えますのでよろしく願います。

連載 矢沢 典子

連載、いかがでしたか？今回は、広く浅いものになってしまつてちよつと反省しています。でも、みなさんが参考にしてくれればいいなと思います。私たちも、だんだんといろいろな段取りがスムーズになってきて、この先見通し明るいです。

表紙 大貫 千穂

私にとって2回目の表紙作りが、やっと終わつたわけなのですが、文章作りの向上

とかは別にしていたで……やっばり、シリーズが続いていくのは、充実したものがありませんよ。みなさん、飽きないで読んで下さいね。

会計 山ノ上 善和

前回の編集長から今回は会計係に格下げになった私です。というのはいさぐさでして、編集長もやらせてもらいました。このように私達は、一人が複数の係につき仕事をしています。ちなみに私はメインの係もやりました。みんな頑張っています。大変です。

構成 金 員

私たちが、スマイルの製作を始めてから、もう二号目になりました。構成も、だいたい決まった型になり、今回の構成の仕事は、あまりありませんでしたが、これからは、読みやすいスマイルを作っていきたいと思えます。

編集後記 中川 末利

構成が前回と同じなので苦労はありませんでした。ただ依頼を手紙だけです。形ではかきなくて御迷惑をかけたなあと反省しています。次回からはなるべく改善したいと思えます。今井先生、山ノ上君、御協力ありがとうございました。

一九八七年二月一九日・発行

復刊第六号

発行人・東京都港区赤坂二一十四一三

霊南坂教会内

B・S・シニア

G・S・レンジャー

編集人・山ノ上 善和

加藤 美和

大貫 千穂

中川 末利

矢沢 典子

協力・小林 有希男

杉原 直明

加茂 政輝

滝沢 佳奈

瀨崎 真生子